自己評価票

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)			
I.	I.理念に基づく運営						
1. 3	理念と共有						
	○地域密着型サービスとしての理念						
1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独 自の理念をつくりあげている	「家族のように心と心の通い合い」 居間の見やすい所に運営理念を書いて揚げている。					
	○理念の共有と日々の取り組み						
2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	暖かい家庭を目指し職員が理念を共有し日々取り 組んでいる。					
	○家族や地域への理念の浸透						
3	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議や家族交流会や地域の行事などで説明をして、少しずつ浸透してきました。					
2. :	・ 地域との支えあい						
	○隣近所とのつきあい						
4	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように 努めている	散歩など外に出た時など近所の方々が気軽に声を 掛けて下さる。					
	○地域とのつきあい						
5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	頻繁ではないが、参加できる行事には参加させて 頂いています。	0	参加できるものは参加させて頂いていますが、利 用者様の当日の体調によっては不参加の時も数回 ありました。			
	-	•					

		T	1	
	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	○事業所の力を活かした地域貢献			
6	利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	現在は、地域の高齢者等に対して役立つことなど は出来ておりません。	0	今後検討していきたいです。
3. ₹	里念を実践するための制度の理解と活用			
	○評価の意義の理解と活用			
7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、改善に取り組んでいる。		
	○運営推進会議を活かした取り組み			
8	運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	二ヶ月に一度、運営推進会議を行い、指摘された 事は改善しサービス向上に活かしている。		
	○市町村との連携			
9	事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	市町村に直接出向き、積極的に報告、相談をしている。		
	○権利擁護に関する制度の理解と活用			
10	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、利用者様が成年後見制度を活用しており、 今後も必要に応じて活用していきたい。		
	○虐待の防止の徹底			
11	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	ホーム内の虐待は一切ない。更に今後も今までのように防止に努めていきたい。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
4. I	4. 理念を実践するための体制					
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者 や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	契約時に文書と口頭にて十分説明をし、トラブル がないように努めています。				
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様が意見、不満、苦情を言える雰囲気であ り、運営に反映させている。				
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度ふれ逢い便りを発行し、ご家族様にはお知らせしている。又、その都度、電話で個々に合わせた報告をしています。				
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見、不満、苦情がある場合、管理者も しくは苦情担当の上司が、電話や直接会って話し を聞き、きちんと対応をしている。				
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の 意見や提案を聞く機会を設け、反映させて いる	月に一度会議を開き、職員が何でも意見が言える 雰囲気である。				
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員 を確保するための話し合いや勤務の調整に 努めている	職員の確保は可能な限り柔軟に対応できるよう努 めています。				

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	一年以上ほとんど職員の入れ替わりがなく、利用 者様も職員も非常に良い雰囲気である。		
5. /	- ∖材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて 育成するための計画をたて、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	日々の業務で精一杯でなかなか出来ていない。	0	研修会など受ける雰囲気作りをもっとしていきた い。
	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者 と交流する機会を持ち、ネットワークづく りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、 サービスの質を向上させていく取り組みを している	会社の上司や管理者のみ出来ている。	0	会社の上司や管理者は出来ているが、職員はあまり出来てないので少しずつ改善していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者に何でも話しできる環境であり職員もとて も仲が良く、このままの雰囲気を続けていきた い。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、各自が向上心を 持って働けるように努めている	運営者はすべてを把握している。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
II .5	Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. ‡	目談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	5				
	○初期に築く本人との信頼関係					
23	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安が多い入居初期には特に力を入れ、職員全員 で利用者様の言葉に耳を傾け、聞く体制を取って いる。				
	○初期に築く家族との信頼関係					
24	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前、入居初期は特に不安だと思いますので、 御家族様の言葉、気持ちをきちんと受け止める努力をしています。				
	○初期対応の見極めと支援					
25	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスの長所なども説明させて頂き、御本 人、御家族様のことを第一に考えるように努めて いる。				
	○馴染みながらのサービス利用					
26	本人が安心し、納得した上でサービスを 利用するために、サービスをいきなり開始 するのではなく、職員や他の利用者、場の 雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談 しながら工夫している	希望があれば、体験入所や1週間の仮入所も実施 しています。				
2. 🛊	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27		職員も利用者様も家族のように共に支え合い、尊 重し生活しています。				

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	○本人を共に支えあう家族との関係			
28	職員は、家族を支援される一方の立場に おかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を 支えていく関係を築いている	家族も何でも言い合える関係を作っています。		
	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援			
29	これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	家族と本人のこれまでの生活歴について理解し、 支援しています。		
	○馴染みの人や場との関係継続の支援			
30	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	御家族様や友人などと自由に外出できるよう支援 しています。		
	○利用者同士の関係の支援			
31	利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	普段の利用者様同士の様子をさりげなく観察し良い関係が築けるように支援しています。		
	○関係を断ち切らない取り組み			
32	サービス利用(契約)が終了しても、継 続的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している	契約が終了した後も連絡を取ったり、相談したり しております。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
ш.	Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1	一人ひとりの把握					
	○思いや意向の把握					
33	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意 向の把握に努めている。困難な場合は、本 人本位に検討している	なるべく本人の希望、意向に添った生活が出来る よう心がけている。				
	○これまでの暮らしの把握					
34	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし 方、生活環境、これまでのサービス利用の 経過等の把握に努めている	職員全員が利用者様の生活歴を把握して、その人 らしく生活できるように心がけている。				
	○暮らしの現状の把握					
35	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりを把握していくように心がけていま す。				
2. 7	・ 本人がより良く暮らし続けるための介護計画のイ	· F成と見直し				
	○チームでつくる利用者本位の介護計画					
36	本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	御家族様とは電話や面会時に話しをし、職員間ではその都度、また月一回の会議で介護計画を話し合い作成している。				
	○現状に即した介護計画の見直し					
37	介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	随時、見直しがある時はしている。				

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38		申し送りノートを作り情報を共有しながら実践や 介護計画の見直しに活かしています。		
3. 🖠	多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	本人や家族の状況、その時々の要望に応じた支援は、あまり出来ていない。	0	今後検討していきたいです。
4. 7	ト人がより良く暮らし続けるための地域資源との	協働		
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員 やボランティア、警察、消防、文化・教育 機関等と協力しながら支援している	民生委員や警察、消防とは連絡を取り合っています。	0	今後はボランティア、文化、教養施設などへの働きかけも行なっていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他 のケアマネジャーやサービス事業者と話し 合い、他のサービスを利用するための支援 をしている	当社の職員がサービス事業者や他のケアーマネージャーと交流して横のつながりを大切にしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働し ている	地域包括センターとは何か相談があればしてい る。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	○かかりつけ医の受診支援			
43		現在、御本人様、御家族様の希望される病院から 往診に来て頂いています。		
	○認知症の専門医等の受診支援			
44	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の詳しい先生なので、相談し助言を頂いて ます。		
	○看護職との協働			
45	利用者をよく知る看護職員あるいは地域 の看護職と気軽に相談しながら、日常の健 康管理や医療活用の支援をしている	当ホームの看護士、協力医の看護士に相談できる関係を築いています。		
	○早期退院に向けた医療機関との協働			
46	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した利用者様には週2,3回は訪問し状態を 把握している。家族の支援が困難な利用者様には 家族に代わって洗濯等必要な援助も行なってい る。		
	○重度化や終末期に向けた方針の共有	日期)。字体 1. 原泰式。) 聯旦 彩纸 1 △ 1 、 田 1 、		
47	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早期に家族と医療チーム、職員が話し合い、思いを共有してターミナルケアを経験させて頂きました。 御家族様にも泊まって頂き、良い最後だったと大変感謝されました。		
	○重度化や終末期に向けたチームでの支援			
48	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	協力医と連携のもと、24時間体制で医療チーム とターミナルの方を最後まで看取った経験があり ますのでこれからも活かしていきたい。		

		T	1		
	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
	○住み替え時の協働によるダメージの防止				
49	本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	他の施設に移られる際は、本人や家族に十分説明し、施設側にも口頭、文章により情報提供をしています。			
IV.	その人らしい暮らしを続けるための日々の	支援			
1. 4	その人らしい暮らしの支援				
(1)	一人ひとりの尊重				
	○プライバシーの確保の徹底				
50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人一人を尊重する言葉かけをするように注意 し、個人の情報が流出しないよう心がけていま す。			
	○利用者の希望の表出や自己決定の支援				
51	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様には自由に自分の思いを言って頂いています。			
	○日々のその人らしい暮らし				
52	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	利用者様のペースを大切にし、居室、フロアー、 自由に過ごして頂いてます。			
(2)	(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
	○身だしなみやおしゃれの支援				
53	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	御希望の美容師、理容師に訪問してもらったり、 出かけて行って好みにカットして頂いています。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
	○食事を楽しむことのできる支援				
	食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをしてい る	利用者様に切ったり、盛り付け、片付け等、手 伝って頂いています。			
	○本人の嗜好の支援				
55	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在はお酒、タバコを飲まれる方はみえないが、 希望を聞いて提供するように心がけている。			
	○気持よい排泄の支援				
56	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	排泄のリズムやパターンを観察して声かけ、介助、見守りを行なっています。さりげなく介助し、御本人の負担にならないようにしています。			
	○入浴を楽しむことができる支援				
		利用者様の希望の入浴順番、湯かげん、入浴する 時間に配慮しています。			
	○安眠や休息の支援				
58	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	散歩後や入浴後に自由に休憩して頂いています。 就寝時間も決めず自由に床について頂いていま す。			
(3)-	(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援				
59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	利用者様それぞれの生活歴を把握し、その生きて きた経験が活かせる場を提供し、その人らしい暮 らしが出来るよう支援している。			

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
		現在は、必要な時に立替でやっており、お金は所 持して頂いていない。		現在は必要な時は立替でやっていますが、御家族様と話し合い、今後検討していきたい。	
61	○日常的な外出支援事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	御本人様が希望される時は、職員が付き添って外 に出かけています。			
	○普段行けない場所への外出支援一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	花見や遠足などいろいろと取り入れています。			
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	本人が年賀状など書いて送ったり、電話もかけて 頂いてます。			
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	いつでも自由に来て頂き、フロアーや居室で過ご して頂いています。			
(4)	(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	全ての利用者様が自由に生活されており、身体拘束は一切行なわれていない。			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	○鍵をかけないケアの実践	利用者様の様子をみて、落ち着いてみえる時は、		
66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	機をかけないように努力しています。居室には鍵はありません。		
	○利用者の安全確認			
67	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者様がどこで何をされているのか把握 し、安全を心がけている。		
	○注意の必要な物品の保管・管理			
68	注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	今のところ、利用者様で対象の方はみえません。		
	○事故防止のための取り組み	日ごろから利用者様には目を配り、事故は全くあ		
69	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	りません。このまま、職員が心を一つにして事 故、怪我のないように、利用者様を守っていきた いです。		
	○急変や事故発生時の備え			
70	利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	消防署が裏にあるので安心できる。又、緊急対応マニュアルを作成しているが、一人の時間帯に冷静に対応できるか、課題である。		
	〇災害対策			
71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている	運営推進会議等では働きかけをしていますが、まだまだ、浸透はしておりません。	0	今後、地域の方への働きかけが必要だと思われ る。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	家族との話し合いは訪問時や電話等にて常に行なっている。				
(5)	(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
	○体調変化の早期発見と対応					
73	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	職員一人一人が申し送りを的確にするように徹底 しています。				
	○服薬支援					
74	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が理解しており、利用者様の症状の変化 を観察しております。				
	○便秘の予防と対応					
75	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維の多い食品を使用して調理したり、ラジオ体操、レク、散歩等、心がけています。				
	○口腔内の清潔保持					
76	ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	口腔ケアの必要性を全職員が理解している。今後 も一人ひとりに合わせた支援をしていきたい。				
	○栄養摂取や水分確保の支援					
77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様全体に対しては、気を使っていますが、 一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援は出来 ていない。	0	栄養士などにアドバイスをいただけると良い		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めが あり、実行している (インフルエンザ、疥 癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、職員全員で実行しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場として の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新 鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具や食器等消毒し、利用者様を含めて調理 者の手洗い、消毒を徹底しております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親し みやすく、安心して出入りができるよう に、玄関や建物周囲の工夫をしている	家の外周りを清潔に保ち、鉢植えなど置き、明る い雰囲気を出すようにしている。		
	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとっ て不快な音や光がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	静かな住宅街にあり、不快な音や光もなく穏やか に生活してみえます。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士で過ごせる居間を提供し、又居 室では自由に生活して頂いております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
	○居心地よく過ごせる居室の配慮					
83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ馴染みの家具や持ち物を持ってきて頂 いています。				
	○換気・空調の配慮					
84	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気温に注意し換気に努めています。				
(2)	(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
	○身体機能を活かした安全な環境づくり					
85	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	借家で民家改造の建物であるため、現状は大変厳 しい。	0	民家改造の建物であるため、手すりが不足している。階段も危険である。普段は必ず職員が見守り、誘導しています。		
	○わかる力を活かした環境づくり					
86	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	職員がすべて行ってしまうのではなく、そばに付き添って声かけを行い、本人の力を引き出すようにしています。				
	○建物の外周りや空間の活用					
87	建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	畑で野菜を作ったり花壇で花作りを楽しむなどし て頂いております。				

部分は外部評価との共通評価項目です)